



新潟県作業療法士会 理事

室橋 真理子

作業療法士としてこれまでこどもに関わってきました。

医療機関を辞めて OT として地域に出ると、それまでとは違った景色がありました。これまで関わってきたお子さんの周りには家族だけでなく、もっとたくさんの方々がいることを実感しました。また、診断がついていないお子さんであっても、OT の知識、考え方を必要としてくださる状況もあります。

子育てに奮闘する保護者、教育現場で対応に苦慮されている先生方、こども園などで頑張っておられる保育士さん、行政の中でこどもを見守っている方々など、多くの方々や地域の現状が見えてきました。

地域の中で OT ができることはまだまだあると感じております。

しかし、実際に OT が活用されるためには、一個人の OT の力だけでは難しいことも感じてきました。それぞれの立場で奮闘される方々に「OT ってこんな職種で、こんなことができます」と知ってもらい、「じゃあ、OT に聞いてみよう、頼んでみよう」と思ってもらわなければ、出番がないのです。

40 周年記念式典という大きなイベントを通して、県士会がこれまでやってきたことを確認し、OT の存在、魅力を外の方々に発信し、OT が今よりもっといろいろなところで活躍できるよう、歴史をつないでいく必要があると思います。

10 年に一度の機会です。正装でおしゃれをして、式典に参加してみませんか？

今の県士会の雰囲気を感じられ、また県士会を支えてくださる行政や団体の方々がいらっしゃることを実感できると思います。

そして、他領域、他施設の OT と語らい、今後の県士会を一緒に考えてみませんか？